



安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2022/03/17 改訂日: 2023/05/15 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : コンシューマ製品 - 家庭用メンテナンス

使用上の制限 : 利用可能なデータはない

会社情報

製造業者

WD-40 Company

92131

9715 BusinessPark Ave San Diego, CA , USA

T +1-800-448-9340 - F +1-858-251-5600

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 1-888-324-7596

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	エアゾール	区分 1
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1(中枢神経系)
	誤えん有害性	区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない (分類対象外) か分類できない。

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害性 (GHS JP)

- : 極めて可燃性の高いエアゾール (H222)
- 高圧容器：熱すると破裂のおそれ (H229)
- 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
- 皮膚刺激 (H315)
- 強い眼刺激 (H319)
- 呼吸器への刺激のおそれ (H335)
- 眠気又はめまいのおそれ (H336)
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系） (H372)
- 水生生物に毒性 (H401)
- 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全対策

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
- 容器を密閉しておくこと。
- 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

- : 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- 無理に吐かせないこと。
- 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 漏出物を回収すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管

- : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。
- 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

廃棄

- : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

他の危険有害性

GHS で扱われない他の危険有害性

- : 利用可能なデータはない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

- : 混合物

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ヘキサン	> 90	C6H14	(2)-6	(2)-6	92112-69-1
n-ペンタン	< 10	C5H12	(2)-5	(2)-5	109-66-0
二酸化炭素	1 - 4	CO2	(1)-169	(1)-169	124-38-9

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、15分以上、気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合には、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師の手当てを受けること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	目や皮膚の刺激を引き起こす可能性がある。吸入は眠気、めまい及び他の神経系の影響を引き起こす可能性がある。液体を肺に吸引すると、肺損傷を引き起こす可能性がある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時特有の危険有害性	極めて燃え易い：熱、火花、火炎で容易に発火する。 蒸気は空気と爆発性混合気を形成する。 蒸気は着火源にまで達し、発火することがある。 蒸気は空気より重く、地面に沿って拡がり、低いところや密閉部分にたまる。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	引火点が極めて低い：消火の効果がないおそれがある場合は散水を行なう。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。 ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	空気式呼吸器(S C B A)、眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏洩場所を換気する。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上から作業して、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた缶は、圧力がなくなるまで、プラスチックの袋かふたのないバケツに入れる。 飛散したものを、不活性な吸収剤等で集めて、密閉できる空容器に回収する。 すべての発火源を取り除く（近傍の喫煙、火花や火災の禁止） 危険でなければ漏れを止める。 容器を冷却して蒸発を抑え、発生した蒸気雲を分散させるため散水を行う。
二次災害の防止策	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	熱、火花、裸火から遠ざける。 電気工具、モーター、電化製品のプラグを抜いてから、缶をスプレーして使用する。 換気の良い場所又は局所排気装置を設置して使用すること。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	皮膚、眼との接触を避ける。 蒸気、エアゾールの吸入を避ける。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 容器を電源に接触させない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 容器は、空の場合でも、穴をあける、粉碎、又は焼却をしないこと。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
接触回避	
保管	
安全な保管条件	容器は遮光し、涼しい場所(40°C (104°F) 以下)に密閉して保管する。 スチール缶の場合、缶が錆びて破裂する原因になることがあり、湿気の多い場所には保管しないこと。 熱、火花、裸火のような発火源から離して保管すること。
安全な容器包装材料	利用可能な情報はない。消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

化学物質名	管理濃度	許容濃度 (ばく露限界値)	
		日本産業衛生学会 2021年版	ACGIH 2021年版
ヘキサン異性体 (n-ヘキサン除く)	未設定	未設定	TLV-TWA 500ppm TLV-STEL 1,000ppm
n-ヘキサン	40ppm	140mg/m ³ (40ppm)	TLV-TWA 50ppm
n-ペンタン	未設定	880mg/m ³ (300ppm)	TLV-TWA 1,000 ppm
二酸化炭素	未設定	9,000mg/m ³ (5,000ppm)	TLV-TWA 5,000ppm TLV-STEL 30,000ppm

設備対策

換気の良い場所で使用又は局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具

適切な有機ガス用保護マスク。換気の良い場所での取扱いは不要な場合がある。

手の保護具

耐薬品性保護手袋

眼、顔面の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

特別な注意事項

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: エアゾール
外観	: エアゾール透明体
色	: 透明色
臭い	: 石油臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: 63 - 69 ° C
引火点	: < -28°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 極めて可燃性の高いエアゾール
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (20 ° C)	: 約 3
相対密度	: 0.678 @15.6 ° C
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に溶けない。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ。
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
VOC 含有量	: 96 - 99 %
粒子特性	: データなし

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	通常の保管及び取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、火炎などの発火源。容器の穴あけ、焼却。
混触危険物質	強酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂)

11. 有害性情報

急性毒性 経口	区分に該当しない NITEは、n-ヘキサン、n-ペンタンを区分に該当しない、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、区分に該当しないとした。
経皮	分類できない NITEは、n-ペンタンを区分に該当しない、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、分類できないとした。
吸入(気体)	区分に該当しない NITEは、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、n-ペンタンを区分に該当しない(分類対象外)、二酸化炭素を区分に該当しないに分類している。 製品は、区分に該当しないとした。
吸入(蒸気)	区分に該当しない NITEは、n-ヘキサン、n-ペンタンを区分に該当しない、二酸化炭素を区分に該当しない(分類対象外)、2-メチルペンタンを分類できないに分類している。 製品は、区分に該当しないとした。
吸入(粉じん、ミスト)	分類できない NITEは、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、n-ペンタンを分類できない、二酸化炭素を区分に該当しない(分類対象外)に分類している。 製品は、分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性	区分2 NITEは、n-ヘキサン、2-メチルペンタンを区分2、n-ペンタンを区分に該当しない、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分2濃度が10%以上であることから区分2に分類した。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2 NITEは、n-ヘキサンを区分2、n-ペンタンを区分2B、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分2、2B濃度が10%以上であることから区分2に分類した。
呼吸器感作性	分類できない NITEは、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、n-ペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、分類できないとした。
皮膚感作性	分類できない NITEは、n-ペンタンを区分に該当しない、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、分類できないとした。

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

生殖細胞変異原性	分類できない NITEは、n-ヘキサンを区分に該当しない、2-メチルペンタン、n-ペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、分類できないとした。
発がん性	分類できない NITEは、n-ヘキサン、2-メチルペンタン、n-ペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、分類できないとした。
生殖毒性	区分2 NITEは、n-ヘキサンを区分2、2-メチルペンタン、n-ペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分2濃度が3%以上であることから区分2に分類した。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3(気道刺激性、麻酔作用) NITEは、n-ヘキサン、n-ペンタンを区分3(気道刺激性、麻酔作用)、二酸化炭素を区分3(麻酔作用)、2-メチルペンタンを分類できないに分類している。 製品は、混合物の主成分が区分3(気道刺激性、麻酔作用)又は(麻酔作用)であることから区分3(気道刺激性、麻酔作用)に分類した。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1(中枢神経系) NITEは、n-ヘキサンを区分1(中枢神経系)、2-メチルペンタン、n-ペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分1濃度が10%以上であることから区分1(中枢神経系)に分類した。
誤えん有害性	区分1 NITEは、n-ヘキサン、n-ペンタンを区分1、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の主成分が区分1であり、動粘性率は不明であるが、区分1に分類した。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分2 NITEは、n-ヘキサン、n-ペンタンを区分2、2-メチルペンタン、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分2濃度が25%以上であると想定できることから区分2に分類した。
水生環境有害性 長期（慢性）	区分2 ECHAは、ヘキサン異性体、n-ペンタンを区分2、二酸化炭素を分類できないに分類している。 製品は、混合物の区分2濃度が25%以上であることから区分2に分類した。
残留性・分解性	十分なデータなし n-ヘキサンは分解度100%との情報がある。（化学物質の環境リスク初期評価（平成9－12年））
生体蓄積性	十分なデータなし n-ヘキサンは生物濃縮係数 log BCF:2.24, 2.89(計算値)との情報がある。（同上）
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	本成分はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	スプレー缶を廃棄する場合は、自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	1950
品名	Aerosols
国連分類 (クラス)	2.1
容器等級	-
海洋汚染物質 MARPOL73/78付属書II及 びIBCコードによるばら 積み輸送される液体物質	非該当 非該当
海上 (IMDG)	UN1950、Aerosols、2.1 5L未満の液体/5kg未満の固体は非該当。
航空 (ICAO-TI/IATA DGR)	UN1950、Aerosols、flammable、2.1 メーカーは、エアゾール缶が、輸送のための圧力及びその他の要件を満足しているかの試験を実施していない。本エアゾール製品は、航空輸送を推奨しない。
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。メーカーは、本エアゾール製品の航空輸送を推奨していない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。
緊急時応急措置指針番号	126

15. 適用法令

国内法令

消防法	危険物 第四類 引火性液体 第一石油類 (非水溶性)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質 (392 (ノルマル-ヘキサン))

安全データシート

WD-40 SPECIALIST CONTACT CLEANER

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9）（520（ヘキサン、n-ヘキサン）、526（ヘプタン）） 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）（520（ヘキサン、n-ヘキサン）、526（ヘプタン）） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3）
高圧ガス保安法	適用除外

16. その他の情報

連絡先	: 利用可能なデータはない
参考文献	: LOLI。 NITE GHS 分類公表データ。
SDS 改訂理由	: 利用可能なデータはない
特定の訓練の必要性	: 本製品の通常の使用は、パッケージ上の指示に従うようにしてください。
その他の情報	: 利用可能なデータはない。

改訂情報

区分に該当しない(分類対象外)。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。